

フォンス・フローリス古楽院 関西講座発表会

2013年11月24日(日) 午後4時 **母の家ベテル** 入場無料

問い合わせ：井上 ecclatin@aol.com 06-7172-8959



フォンス・フローリス古楽院は、西欧中世・ルネサンス・バロックの時代の音楽を、主に歌のアンサンブルを中心として実践する人たちのための学びの場です。古い音楽にふさわしい発声の基本、記譜法、声と声あるいは声と楽器のアンサンブル、言語の感覚、音楽史の知識、そして古い音楽の持つ深い霊性と高貴な精神性を、様々な楽曲を通して、楽しみながら学んでいます。

発表会では、聖母御誕生のミサの典礼の流れに沿って、グレゴリオ聖歌、中世、ルネサンスのミサ曲を演奏します。勉強と練習の成果をお聴きいただければ幸いです。

【演奏曲】

グレゴリオ聖歌 *Gregorian chant*

聖母誕生の祝日のミサより *Missa in Nativitate Beatae Mariae Virginis*

ギヨーム・ド・マショー *Guillaume de Machaut (ca.1300-1377)*

ノートルダム・ミサより クレド *La Messe de Notre Dame - Credo*

ジョスカン・デ・プレ *Josquin des Prez (1450/55?-1521)*

ミサ《デ・ベアタ・ヴィルジネ》より サンクトゥス、アニュス・デイ
Missa De beata virgine - Sanctus, Agnus Dei

【演奏】フォンス・フローリス古楽院関西講座2013

「総合講座 グレゴリオ聖歌とフランドル楽派のポリフォニー」
「アンサンブルクラス 中世の音楽」受講生

【指揮・指導】花井哲郎

古楽演奏家。早稲田大学第一文学部哲学専攻卒業後、アムステルダム・スウェーリンク音楽院にて、オルガンとチェンバロを学ぶ。ロッテルダム音楽院において合唱指揮と管弦楽指揮のディプロマを取得。プラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルをレベッカ・ステュワートに師事。滞欧中、教会音楽家、合唱指揮者、鍵盤楽器奏者として活動し、またグレゴリオ聖歌の研究・演奏活動にも



従事する。1997年に東京にてヴォーカル・アンサンブル カペラを創設、以来ルネサンス・フランドルの宗教作品の演奏を続ける。2005年には古楽アンサンブル コントラポントを結成、リーダーとして17世紀を中心としたバロックの宗教音楽演奏にも力を注ぐ。また、古楽をレパートリーとするアマチュアのアンサンブル、合唱団、管弦楽団などを指導するほか、グレゴリオ聖歌とルネサンス音楽の普及活動を行う。フォンス・フローリス古楽院院長、国立音楽大学講師。NHK-FM『ピバ!合唱』の案内人を担当。



「母の家ベテル」 阪急神戸線「御影」駅 徒歩7分

Fons Floris

主催：フォンス・フローリス